

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅰ-4-1 経営革新及び経営基盤の強化への支援
---------	------------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

中小企業課 美濃 亮

電話番号

0852-22-5881

事務事業の名称	商工会・商工会議所活動支援事業	
目的	(1) 対象	小規模事業者
	(2) 意図	経営の安定・改善と事業の発展を図る。
事業概要	・小規模事業者等への経営指導等をするため、商工会議所、商工会及び商工会連合会に対し、経営改善普及事業等に要する経費を補助する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		36,300.0	36,300.0	36,300.0	36,300.0	件
	取組目標値							
	式・定義	経営指導員が巡回により相談対応した件数	実績値	38,561.0	37,795.0			
	達成率		-	104.2	-	-	-	
2	指標名	目標値						
	取組目標値							
	式・定義	実績値						
	達成率		-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,296,352	1,304,766
うち一般財源 (千円)	1,296,352	1,304,766

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・巡回指導件数は前年度件数を下回ったが、成果指標の目標値より1,495件の増加となった。  
 ・経営指導員には、経営改善普及業務以外にも、行政機関や支援機関と連携し、特産品開発や観光振興により地域のブランド化を図るなど、地域全体の活性化を牽引する役割も期待されており、これらの業務等も勘案して目標値を設定していることから、目標値を変更する必要はない。  
 ・平成26年度から平成28年度に巡回指導を行った企業のうち、過去3カ年間に経営革新計画を策定した企業等を対象に調査を実施したところ、計画策定等から3年を経過した企業では、事業採択時の直近決算から平均して売上高が約120%増加していた。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・巡回による相談対応件数は目標値を上回っており、事業者に寄り添うきめ細やかな支援につながった。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

・消費の低迷や、後継者不足等より、事業者が減少している。  
 ・事業者の相談内容等の多様化により、経営指導員のみでの対応が困難な場合も出てきている。  
 ・巡回指導がどれだけ収益改善につながったのか、短期的に把握することが困難である。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・人口減少等による地域経済の低迷や事業者の高齢化等により、廃業の増加するとともに、開業数が減少している。  
 ・生産技術の高度化への対応や販路（物流）の問題、地域資源を活用した新事業の企画・展開など、経営課題が多様かつ高度化しており、経営改善を行うにおいて、経営指導員にはこれまで以上に高度な知識や技術が求められている。  
 ・相談件数が多く、その内容も高度化・多様化している。

### ③原因を解消するための「課題」

・市町村や関係機関と連携した事業者の持続的発展に向けた取り組みの推進が必要。  
 ・高度で多様化し、先進性が求められる事業者ニーズに対応するには経営指導員の更なる資質向上が必要。  
 ・相談対応と売り上げや収益の向上との因果関係を把握する方法が必要である。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・事業の経営改善に向け、市町村や関係機関等と連携し、経営課題への対応や地域資源を活用した事業支援などに取り組んでいく。  
 ・高度化・多様化する事業者のニーズに的確に応えることができるよう、商工会・商工会議所が実施する経営指導員の資質向上を図るための各種研修や専門機関等への研修参加を支援する。  
 ・事業成の評価については、支援の中で売り上げと直接関係のある支援を行った企業等の売上高の把握に努め、地域経済の景況動向なども踏まえ、評価に反映する手法を引き続き検討する。